

平成30年度 施策評価シート（平成29年度実績評価）

政策 02 健やかに暮らせるまち
施策 04 健康づくりの推進
主管課： 保健センター
関係課： 児童福祉課、国保年金課、学校教育課

1 施策の目的

対象（誰、何を対象としているか） 市民	意図（どのような状態にしたいのか） 心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができるまちをつくる。 生活習慣病による死亡者数が減少するまちをつくる。
------------------------	--

2 施策の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

心身ともに健康だと感じている市民の割合（％） 保健センター					
基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
77.80	73.20	77.20	78.00	79.00	80.00
向上指針	上がると良い	（状況）昨年度と比較して4.0ポイント増加しました。 （原因）10歳代から40歳代は、ほぼ80%以上で目標値に達していますが、50歳代が、67.9%と最も悪く、60歳代以上は、70%台でした。今後も各世代に対し「第二次健康もりや21計画」や「第二次食育推進計画」を推進し健康づくりの環境整備に努めます。			
対前年度	向上				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

生活習慣病の標準化死亡比 保健センター					
基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
89.70	90.40	90.30	89.70	89.70	89.70
向上指針	下がると良い	（状況）昨年度と比較して0.1ポイント微減しました。 （原因）全国に比べて有意に高い生活習慣病の死因はありませんでした。女性の死因で乳がんと糖尿病が高めでした。全体のがん検診受診者数は減少傾向にあります。今後、各がん検診の新規受診者の獲得と継続受診者数を増やすための工夫や効率の良い保健指導の検討が必要です。生活習慣病による死亡率を増やさないために、生活習慣病の発症予防や重症化予防、がんの早期発見、早期治療に向け、特定健康診査、がん検診の受診率向上及び特定保健指導を推進していきます。			
対前年度	低下				
目標達成度	中				
次年度課題	課題とする				

基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値（H33）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 施策に係るコスト（単位：千円）

	H27年度 決 算	H28年度 決 算	H29年度 決 算	H30年度 予 算	H31年度 見 込
事業費合計	407,565	410,798	441,148	497,747	497,861
人件費	0	83,105	78,118	0	0
トータルコスト	407,565	493,903	519,266	497,747	497,861

4 基本事業の状況

基本事業名称	成果指標の動向					事業費				
						H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
01 母子保健の充実	横ば	低下				206, 770	212, 262	241, 031	269, 367	269, 367
02 健康的な生活習慣の推進	横ば	横ば	横ば			128, 334	127, 799	131, 229	150, 229	150, 196
03 食育の推進	横ば	横ば	横ば			1, 426	2, 781	1, 829	1, 806	1, 953
04 感染症の予防・拡大防止	向上	横ば	低下			15, 354	16, 603	16, 392	18, 960	18, 960
05 地域医療体制の確保	横ば	横ば				15, 117	15, 617	15, 784	15, 127	15, 127
99 施策の総合推進						40, 564	35, 736	34, 883	42, 258	42, 258

5 施策全体の取組状況と課題

当該年度の全庁決定の方向性（前年度の全庁政策会議での決定事項）

検診体制の工夫や受診意識の啓発に努めることで、各種検診（特に女性対象の検診）の受診率を向上させ、疾病の早期発見につなげていきます。 第二次食育推進計画に基づき、各世代に対する食育への意識付けに取り組みます。 子育て世代包括支援センターの支援を通じて、母子保健事業の更なる充実を図ります。	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

がん検診の受診率が、国の目標とする50%を切っており、伸び悩んでいる状況です。受診勧奨のほか、各種健診との組合せなどを工夫し、受診率の向上に努めます。 また、全国的に糖尿病患者数の増加が課題となっており、国及び県においては、糖尿病の重症化や腎不全、人工透析への移行防止を目的に「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」が策定されました。本市においても取手市、利根町及び取手医師会との連携による「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を策定し、これまでの特定健康診査による保健指導に加え、当該プログラムに基づく保健指導を実施し、糖尿病の重症化予防に取り組んでいきます。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

次年度の方向性（当該年度の全庁政策会議での決定事項）

健康に対する意識向上を促進し、各種検診（特にがん検診）の受診率向上に努める。 第2次食育推進計画に基づき、各世代への食育の意識の向上を図る。 かかりつけ医、かかりつけ歯科、かかりつけ薬局及び在宅医療の普及を推進するため、関係機関との連携を図り、周知に取り組む。	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持